

東京高齢協 ニュース

2025 年 春号 No. 203

URL www.t-koureiyou.or.jp
E-mail info@t-koureiyou.or.jp

Pick Up

- 第 27 期上半期報告
- 表彰されました
- 高野台敬老館閉館です



所感

理事長 庭野 吉也

偶然見つけた公園や民家の庭先で冬を越して咲いた花々を愛でながら、春の訪れと四季の移ろいの早さを実感するこの頃です。今年も穏やかな気候に心和む季節がやってきました。

東京高齢協では 1 月下旬から 3 月初旬にかけて、指定管理施設の利用者懇談会を開催しました。利用者懇談会は毎年この時期に開催されますので、東京高齢協にとっての冬から春に向かう季節の習わしの一つともいえます、開催日によってはまだまだ寒く大粒の雪が舞う日もありましたが、それでもたくさんの利用者の方がご参加くださり、私たちの日頃の館運営に関して高い評価をいただきました。とりわけ、3 月末をもって閉館となった練馬高野台敬老館では、職員のこれまでの取り組みと対応への感謝の言葉をいただけたことに感無量の思いです。

この一年間、職員の方々は大変ご苦勞様でした。新年度に入りましたが、引き続き私たちの仕事の利用者と地域の方々の健康と充実したくらしの一助となるよう共に努力を続けたいと思います。

今年国連が定める国際協同組合年です。国連は世界が直面するさまざまな課題の解決に向け、生協が元来有する助け合いの仕組みの重要性と実践的取り組みに大きな期待を表明しています。東京高齢協も福祉の生協として四半世紀にわたって組合員、利用者の生活を守り、豊かにすることを目的に事業を続けてきました。一方で、私たちは生活協同組合に所属し業務に携わっていますが、一般企業人としてではなく生協職員であることを日常的に意識する機会はほとんどないと思います。

国際協同組合年では、「学び」「実践」「発信」の 3 つの行動提起がされていますが、まずは生協に携わる私たち一人ひとりが協同組合の存在価値、生協で働くことの意味、東京高齢協の事業と活動の意義と目的といったことを改めて考える契機にしたいと考えます。

東京高齢協の事業の中核でもある介護事業は、昨年度の報酬改定で基本報酬が引き下げられた訪問介護を中心に全国的に大変厳しい事業環境にさらされています。事業継続を断念して休廃業、解散する事業者や倒産件数が過去最多になったことは、記憶に新しいところです。このような状況が続けば、地域の在宅介護が破綻する事態にもなりかねず、政府が掲げる地域包括ケアシステム構築と矛盾する施策とさえ映ります。

そのような中、厚労省は 2 年後の 2027 年度に控える次の介護保険改正に向けた議論を昨年末に開始しました。年内に具体策を固め、来年の国会に改定案を提出する方針ですが、現下の状況で最も重要なことは、地域での生活に必要なサービスが高齢者にしっかり行き届く制度設計です。それは、サービスを提供する側の経営が成り立つことが大前提になります。

私たちは福祉の生協として、こうした地域の組合員と利用者のくらしに深く関わる問題について他団体・関係団体とも連携しながら必要な問題提起、発信を行っていきたいと思います。

以上

第 27 期上半期報告

令和 6 年 10 月からの東京高齢協第 27 期もすでに半年が過ぎました。
第 27 期の事業計画の進捗状況をご報告いたします。



【介護事業】

- ① 介護福祉事業収入の予算案 1 億 4,418 万円をクリアします。
介護福祉事業収入は、半年で 6,442 万円となり、半年の予算 7,209 万円の 89%でした。
訪問介護事業所の収益悪化が著しくなっています。
- ② 訪問介護事業所の月次原価率 90%以下を目指します。
2 か所の事業所が原価率 100%以上となっています。
- ③ 全介護事業所で 10 名以上の職員を獲得します。
町田地域センターの近隣介護事業所が閉鎖となり、一部の利用者とヘルパーを受け入れました。
それにより半年で 10 名の職員を獲得することができました。

このように、第 27 期も介護事業は厳しい状況が続いています。
少しでも経営が改善されるために、それぞれの事業所の課題解決に取り組んでいます。

【指定管理施設事業】

- ④ 9 か所の施設の安定した運営のために本部体制を強化します。
本部職員を増強する予定でしたが、年末年始の退職者の補充ができず、3 月末まで厳しい体制でした。4 月から新職員が加わり、体制を強化できると思います。
- ⑤ 練馬高野台敬老館の令和 7 年 3 月 31 日閉館を滞りなく行います。
高野台敬老館は、5 人の女性職員が毎日丁寧な運営を行ってきました。閉館前の 3 月も多くの利用者が来館されました。3 月 31 日は利用者のたくさんの「ありがとう」と涙をいただきました。

指定管理施設は、4 月から 8 か所となります。令和 7 年度は更新の施設はありません。この時期に新たな施設の受託に取り組んでいきます。

【新規事業】

- ⑥ 新たな取り組みも動き出しています。
 - ・令和 7 年度足立区 **“ふれあい遊湯う” 事業 *** を受託しました。
東京高齢協のぞみのスタッフに加え新たな職員も加入し、「新生遊湯う」を 4 月から開始しています。

*足立区 **“ふれあい遊湯う” 事業**とは
民間銭湯を会場とする“介護予防事業”です。



健康チェック



体操 & 脳トレ



一番風呂を楽しむ！

地域文化活動部会より

AKS68 – 明るいシニアの進撃！

～ 間違えても 楽しいから続ける ～

池袋の貸しスタジオ。マットを敷いて足や腕を上げストレッチを始める70代から80代のメンバー。バランスを崩したり、決まらないポーズに白橋先生の的確な声掛けと指導が飛ぶ。

2月5日のNHKテレビひるまえほっとでは“シニアダンサー”としての活動が放映されTRFのサムさん、DJCOOさんと共に画面いっぱいに彼女達のダンスが披露されました。「元気をもらった」「感動した」と感想が寄せられました。

また、4月26日には池袋西口公園野外ステージにおいて、懐かしい思い出の歌謡曲に合わせお揃いのドレスで踊ることに。

「間違えても笑顔でゴマかす」—とおおらかな気持ちで今日も彼女たちの“進撃”が始まっています。



新規事業のアイデア募集

制度事業に頼らない新規事業の取組みは、中期計画の一つとなっています。しかし、「だれがやるのか？そんな時間はあるのか？」などのご意見もいただいております。

まずは、みなさんのアイデアを集めさせてください。こんなことがしたい！こんなことがあったらいいな！友達がこんな事したいって！など、多くのアイデアをお待ちしています。

同封した、「新規事業アイデア募集」用紙に、アイデアを手書きで記入して、FAXまたは郵送で送ってください。

新規事業委員会で選考して、優秀なアイデアを表彰致します。

新規事業アイデア募集

東京高齢者がもっと、面白いだろうなって面白い事業（仕事）を募集しています。
「介護」や「施設管理」の延長線上での新しい仕事でも構いません。
まったく違う分野の仕事でも構いません。誰かやるか、出来るか、出来ないかは後回しで結構です。
一人何件でも応募できます。

自由に手書きで記載して本部へFAXしてください。
文章だけでなく、イラストが入っても構いません。
みなさん頑張って応募下さい。

名前 _____ 連絡先 (_____)

タイトル: _____

内容説明 (自由に書いてください)

生活協同組合・東京高齢部 FAX 03-5904-9012 ☎03-5904-9011

※お申し込みは5/31(日)まで

第2回理事会報告

開催日時 : 令和7年2月20日(木) 13:30~14:55 於パスホール中会議室

出席理事 16名 出席監事 1名

【審議及び決裁事項】

- ・「指定管理受託施設就業規則」、「育児・介護休業に関する規程」変更の件
- ・令和7年度65歳以上継続雇用承認の件
- ・定期預金口座開設の件



表彰されました

新宿区立 中落合地域交流館

昨年、中落合で AED が必要な事故が発生しました。
 当日出勤していた職員が迅速に対応し、救急隊が来るまでの間 AED 操作等を行いました。
 救急車到着後は救急隊の方が胸骨圧迫等の心肺蘇生を行い心肺停止の状態から回復しました。
 病院へ搬送されて 1 時間後、新宿消防署より意識・呼吸が回復したとの連絡が入りました。
 さらに数週間後、少しずつ回復しているとの連絡があり、職員一同ほっとしました。
 今回の事故は当日出勤していた職員の勇気ある行動により、利用者が一命を取り留めました。
 またその勇気ある行動が東京消防庁より表彰されました。



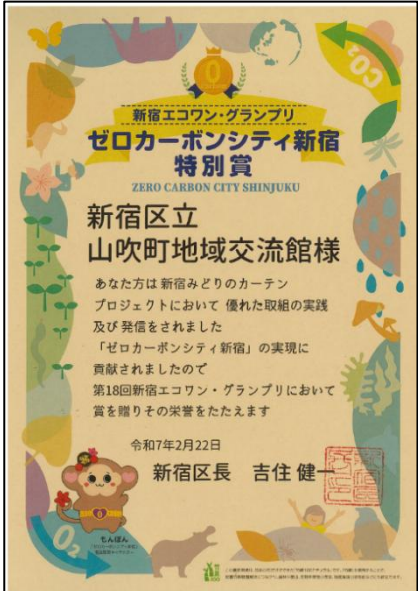
新宿区立 山吹町地域交流館

令和 6 年度も、第 18 回新宿エコワン・グランプリが実施され、新宿区立山吹町地域交流館は今年も「みどりのカーテンプロジェクト」において、『ゼロカーボンシティ新宿特別賞』を頂くことができました。これで 3 年連続受賞の快挙を成し遂げたこととなります。投票して頂いたたくさんの方々にお礼を申し上げたいと思います。

『ゼロカーボンシティ新宿特別賞』とは、新宿「みどりのカーテン」プロジェクトに参加し、「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて貢献した人たちの中で、「みどりのカーテン展（生育記録シートの展覧会）」にて多くの支持を頂いた人たちを表彰するものです。

今回は、個人（12 人）と団体（3 団体：新宿区立障害者福祉センター、高田馬場地域交流館、山吹町地域交流館）が受賞対象となりました。

表彰式は 2 月 22 日（土）にエコギャラリー新宿で行われ、吉住区長より表彰状を授与され、他の受賞者と一緒に記念撮影を行いました。



春の訪れ

新宿区立高田馬場シニア活動館の近くにある神田川にかかる、久保前橋付近では、春の訪れとともに桜が満開を迎えています。昼間は淡いピンクの花が川沿いを彩り、夜にはライトアップされた桜が幻想的な雰囲気醸し出し、訪れる人々の目を楽しませています。散歩がてら花見を楽しむにもぴったりのスポットで、地域の方々の憩いの場として親しまれています。

また、橋の周辺だけでなく、シニア活動館の敷地には、桜の老木が2本あり桜吹雪の状態です。玄関先の花壇は、町会や職員が手入れをしているのでいろいろな花が咲き、館を訪れる方の眼を楽しませています。

新宿区立高田馬場シニア活動館 古平 篤



練馬区立高野台敬老館が閉館です

練馬区立高野台敬老館は、東京高齢協が平成18年4月1日に、練馬区より指定管理者として指定を受け運営を開始しました。以来、練馬区の高齢者の健康維持、居場所作り、交流の場として活動してきましたが、令和7年3月31日で閉館となりました。

高野台敬老館は大広間一つが活動スペースです。舞台ではカラオケを楽しみ、一画では麻雀を楽しみ、囲碁・将棋の場所、マッサージや電気健康器具の場所で利用者が思いおもい楽しむ毎日です。職員が企画立案した体操講座やお楽しみ講座の開催。イベントになると、全職員で大広間の模様替えをして、部屋いっぱいに椅子が並べられます。地元のボランティアによる落語、アンデス地方の演奏グループ、カラオケ大会、演芸大会等々地域高齢者の憩いの場として親しまれていました。

残念ながら、館は閉館となってしまいましたが、最後の3月31日には、最後までカラオケや麻雀を楽しんでいました。そして、多くの利用者がわざわざ訪れて下さいました。受付の前に来るや「ここが無くなるのは寂しい〜」と職員と涙ながらにお別れしました。



練馬区立高野台敬老館 職員一同



地域文化活動部会より

おおやまレトロシネマから三年目のお誘い

2022年の夏、埼玉映画ネットワークと言うNPOで上映会場を無料で貸していただいていた、さいたま芸術劇場の館長だった方から、我々（深谷シネマ、新日本映画社、鈴木映画）に「ひさしぶりに一杯やらない？」とお誘いがありました。「今度大山にある板橋区立文化会館の財団の館長になるんだけど、また映画上映やらない？」とお誘い。じゃあやろうと企画を立てはじめ、2023年の5月から区立文化会館の小ホールが空いているときに上映を始めることになりました。

東武東上線の大山駅から徒歩5分の好立地！チケットはフィルム上映でも1000円というお得な設定です。最盛期には7つも映画館があったというハッピーロード商店街・遊座商店街を舞台にした「おおやまレトロシネマ」のはじまりです。地元の高齢者が映画を見に家から出て来てくれるのが大きな目的です。東京高齢協の組合員の仲間に声をかけ最初から3人に受付ボランティアになってもらいました。

ところが最初の名作「ニューシネマパラダイス」こそ150人を越すお客様でしたが、日本映画になると入る映画と入らない映画の差が大きく、途中で実行委員会と文化会館の職員さんと「レトロシネマってなんだろう？」と深刻な会議をしました。レトロって若い人には魅力のある言葉のようだが、「おおやま何を提供するのか？」です。その結果がチラシにもある「みどころ」の整理です。

- ① 映画のプロたちが厳選した記憶に残る名作
- ② プロの映写技師による第一級のフィルム上映
- ③ レトロな区立文化会館のホールでの映画の共有体験
- ④ 家庭では味わえないレトロな空間で大きなスクリーンと音響設備
- ⑤ フィルム上映にこだわり、音の映像のゆらぎを楽しむ。

の5点。そのせいか？24年2月の無声映画特集には大ホール前に行列が出来ました。二つの商店街だけでなく、板橋区の退職教員の会や練馬の観劇の会とも提携、おおやまの町でだんだん知られてきました。チケット販売方式も年間パス、二回連続パスを導入。毎回のお客様からのアンケート結果をスタッフで分析。おおやまのお客様の要望が少しずつ見えてきました。

「24年5月から第二期に！」ふしぎなもので一度でも一日三回上映でお客様が300人を越える体験をすると、どういう訳かその後は最低でも200人と言うベースができました。地元の女子大生4人がインターン生で手伝ってくれるようになり、スタッフも若返りました。お客様も本当に若い人が増えました。うれしい！商店街を歩いていても「よっ！次回も頼むよ」と声掛けいただくように。結果、二年目は一年目の4倍のお客様がいらっしゃるように、レトロシネマは成長しました。

そして、25年5月から三年目に入り、「これでどうだ！」と思いきりレトロな名作を並べてみました。中心スタッフは会館の若い映画好きな方々と、館長含む我々レトロなメンバー約8人。この町で東京高齢協の支部作りたよね～と毎回の打上の居酒屋で話し合っています。

ボランティアメンバーは毎回無料で映画が見られますよ！映画好きには楽しい仲間がいっぱい、どうぞ皆さんもご参加ください！ 待ってま～す。

地域文化活動部会担当理事 杉本創

.....おおやまレトロシネマとは？.....

かつて「板橋区・大山」の街には7つの映画館があり、「映画の街」として親しまれていました。そこで、「人々の記憶に残る映画の街を復活していきたい」と考え、2022年に実行委員会(深谷シネマ、鈴木映画、新日本映画社)や、地元にある2つの商店街の協力を得て、2023年から文化会館で映画上映が開始しました。

.....見どころ.....

- ・ 映画のプロたちが厳選した人々の記憶に残る名作の上映
- ・ プロの映写技師によるこだわりの映像
- ・ レトロな雰囲気漂うホールでの映画の共有体験
- ・ 家では味わえないスクリーンでの映像と、臨場感のある音響
- ・ 映写機の音と映像の揺らぎを楽しめるフィルム上映もあり！



チケット

- 全席自由 1,000円
- 2か月セット券 1,500円
- 年間パス 4,000円

アクセス

- 板橋区立 文化会館
〒173-0014
東京都板橋区大山東町51-1
- 板橋区立 グリーンホール
〒173-0015
東京都板橋区柴町36-1







Q1. ①～⑤は春に咲く花です。それぞれの花の花言葉を下の語群から選んでください。

- ①たんぽぽ ②二輪草 ③ホトケノザ ④レンゲソウ ⑤菜の花



- A、友情 B、私の幸福 C、真心の愛
D、小さな幸せ E、輝く心



Q2. 満月にはその月毎に名前がついています。4月・5月・6月の満月はそれぞれ何ムーンと呼ばれているか下の語群から選んでください。

- ①バックムーン ②ストロベリームーン ③ウルフムーン
④ピンクムーン ⑤ビーバームーン ⑥フラワームーン

Q3. 春にちなんだ難読漢字。それぞれ何と読むでしょう。

- ① 野蜀葵 ② 水雲 ③ 独活

Q4. 1～6の数字を1つずつ使って①～③の式をそれぞれ完成させてください。

① $\square \square \times \square = \square \square \square$

② $\square + \square + \square + \square = \square \square$

③ $(\square - \square + \square) \times \square = \square \square$



東京高齢協介護福祉事業所

東京高齢協	のぞみ	03-5856-0886
東京高齢協	世田谷訪問介護 青い空	03-5426-6831
東京高齢協	ふじみ	03-6905-7858
東京高齢協	国立地域センター ふあみり～・さぽ～と	042-577-0399
東京高齢協	町田地域センター	042-789-5303
東京高齢協	ひなた	03-3577-2800

東京高齢協指定管理者受託施設

高田馬場シニア活動館	03-3362-4560
信濃町シニア活動館	03-5369-6737
早稲田南町地域交流館	03-3208-2552
新宿地域交流館	03-3341-8955
山吹町地域交流館	03-3269-6189
上落合地域交流館	03-3360-1414
中落合地域交流館	03-3952-7163
大崎ゆうゆうプラザ	03-5719-5322

入会案内

生活協同組合・東京高齢協は「最期まで自分らしく輝いて生きたい」の思いを実現する、ささえあいの協同組合です。ぜひ、東京高齢協の活動と一緒に加しませんか？本部にご連絡ください！

- ① 所定の加入申込書に必要事項を記入して、ご提出して下さい。
- ② 出資金（1,000円/1口）を1口以上お預けいただけます。

ためして脳トレ回答

Q1. ①=C ②=A ③=E ④=B
⑤=D

Q2. 4月=④ 5月=⑥ 6月=②

Q3. ①みつば ②もずく ③うど

Q4. ① $54 \times 3 = 162$ ② $2 + 3 + 4 + 6 = 15$
③ $(5 - 3 + 2) \times 4 = 16$

地域・活動グループからのお知らせ

いよよ華やぐ倶楽部	03-5904-9011(本部)	5月29日 新宿地域交流館 13:30～ 「おしゃれな夏の対策」講座
新「そらぐみ」	090-2661-0991(本多)	4月19日(土) 新宿御苑の百花繚乱 集合：新宿門12:00 弁当、敷き物 (雨天：伊勢丹デパートでランチ 1F 12時集合)
練馬かんらんの会	090-2661-0991(本多)	お問合せ下さい
東京フロイデ合唱団	03-5940-0731	お問合せ下さい (関係団体)
ふじみサロン	03-6905-7858	お問合せ下さい
サロン木曽の里	042-789-5303	町田市本町田2507-7 八-14
こめカフェ	03-5426-6831(青い空)	(休止中)

東京高齢協ニュース 2025年・春号 4月10日発行(通算203号)

生活協同組合・東京高齢協
理事長 庭野吉也

〒170-0005 豊島区南大塚3-43-12
Tel 03-5904-9011
Fax 03-5904-9012
Mail info@t-koureikyou.or.jp
URL http://t-koureikyou.or.jp/

編集後記

雪国育ちにとって、春の裏庭は食べ物の宝庫だった。「みょうがとあさつき取ってきて！」と母の声。ぴょんぴょんと芽を出しているみょうがは、みそ汁に散らす。あさつきはきざんで納豆へ。自然と芽がでてくる物はありがたい。

雪が解けたら、母は大忙し。庭から続く畑でじゃがいも、絹さや、きゅうりになす。夏はとうもろこしと枝豆。“ずいき”（芋茎）もあった。秋は大根、白菜、野沢菜・・・

そしてまた雪が降る。

今でもみょうがの香りは、半世紀以上前のふるさとに連れて行ってくれる。

* ずいきとは里芋の葉っぱの茎で

干してから食べます。

